

事後評価調書

I 事業概要																											
事業名	農業農村整備事業（たん水防除事業）																										
地区名	いっしきさいぶ 一色西部地区																										
事業箇所	西尾市																										
事業のあらまし	<p>本地区は、愛知県の南部に位置し、一色悪水路西側の低平な農村地域である。地区内流域320haの洪水時の排水は、3か所に設置された排水機場（東実録第一排水機場、東実録第二排水機場、一色西部排水機場）により、三河湾へ強制排水されている。</p> <p>しかし、流域内開発による降雨流出量の増加や既設排水機の老朽化に伴う排水能力の低下により地区の排水状況は著しく悪化し、豪雨時にしばしば農地や農業用施設、公共施設等に湛水被害が生じていた。</p> <p>このため、機能低下が著しい一色西部排水機場を更新整備することにより湛水被害を防止し、農業経営の安定と県民生活の安心・安全を図ることを目的として、平成18年度からたん水防除事業一色西部地区を実施し、平成24年度に完了した。</p>																										
事業目標	<p>【達成（主要）目標】 機能低下した排水機場を更新整備し、農地、農業用施設及び公共施設等の湛水被害を防止する。 （計画基準雨量：298.5mm/3日、1/20年確率雨量）</p> <p>【副次目標】 —</p>																										
事業費	事業費		内訳																								
	5.5億円		■工事費 5.2億円、■用補費 0.1億円、■その他 0.2億円																								
事業期間	採択年度	平成17年度	着工年度	平成18年度	完成年度	平成24年度																					
事業内容	排水機場 1か所																										
II 評価																											
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】 事業完了後からの5年間で、最大3日連続雨量では平成27年9月7日～9日に219.0mm（最大1時間雨量33.0mm）を観測したが、農地や公共施設等の湛水被害は発生していない。</p> <p>降雨実績 （一色観測所降雨データ）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>計画</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最大3日連続雨量</td> <td>298.5mm</td> <td>116.5mm</td> <td>162.5mm</td> <td>78.5mm</td> <td>219.0mm</td> <td>106.0mm</td> </tr> <tr> <td>（最大1時間雨量）</td> <td>（72.2mm）</td> <td>（69.0mm）</td> <td>（58.5mm）</td> <td>（28.0mm）</td> <td>（33.0mm）</td> <td>（28.5mm）</td> </tr> </tbody> </table> <p>【達成状況に対する評価】 最大3日連続雨量は計画基準雨量以下であるが、湛水被害が発生しておらず、本事業は地域の農業経営の安定と県民生活の安全・安心に寄与していると評価できる。</p>					区分	計画	H24	H25	H26	H27	H28	最大3日連続雨量	298.5mm	116.5mm	162.5mm	78.5mm	219.0mm	106.0mm	（最大1時間雨量）	（72.2mm）	（69.0mm）	（58.5mm）	（28.0mm）	（33.0mm）	（28.5mm）
	区分	計画	H24	H25	H26	H27	H28																				
最大3日連続雨量	298.5mm	116.5mm	162.5mm	78.5mm	219.0mm	106.0mm																					
（最大1時間雨量）	（72.2mm）	（69.0mm）	（58.5mm）	（28.0mm）	（33.0mm）	（28.5mm）																					
2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】 —</p> <p>【達成状況に対する評価】 —</p>																										

Ⅲ 対応方針	
今後の事後評価の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、今後の事後評価は不要である。
改善措置の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、改善措置は不要である。
同種事業に反映すべき事項	必要な年度予算を常に把握し、適正な進行管理を行う。また、予算の変動が生じた場合は、排水機場の本体整備を実施する地区を優先するなど、限られた予算の範囲で早期に事業効果が発現するよう調整し、事前に関係機関や地元への説明を十分に行う。